

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
澁谷教頭 （以降、司会） 増田校長 増田校長 （以降、増田委員） 各委員 増田委員 増田委員 黒澤委員 増田委員 木田委員 増田委員 遠藤雅委員	1 開会のことば 2 あいさつ ・昨年度から試行錯誤ながらのスタートも、円滑な運営に感謝 ・児童の一助となる組織に ・実態、現状、強み、課題を把握した上で、「どういうこどもを育てたいか」「そのための方策は」について熟議したい。 3 委嘱状交付 各委員へ委嘱状を交付（校長へは司会から交付） 4 自己紹介 5 会長、副会長の選出 会長：栗田 昭一 副会長：遠藤 雅彦 6 校内一巡 7 協議 （1）学校経営方針について（学校要覧を資料として） ・学校教育目標について ・豊野小 3つの「いっぱい」について ・校長の掲げる「凡事徹底」について ・学校経営基本方針について ・PTA、学校規模、原道小との連携について ○ 「家庭数」という数字の考え方について → 世帯数と考えて差し支えない。低学年は兄弟の関係で数が少なくなる。 ○ なのはな学級は3年生2名となっている。校内一巡の際、3名が活動をしていたが、その状況について → 在籍は2名だが、1年生1名が本人の意思のもと、なのはな学級で活動をしている。年度途中とは考えていないが、今後、保護者との相談や市の就学支援委員会に相談をかけ、特別支援学級の在籍になる可能性はある。 ○ 働き方改革の観点から。かつては家庭訪問が行われていた。豊野小に通わせているという意味からも、教員も一度くらいは両親と面接をする機会は重要だと考えているが、現状はどうなっているか。

増田委員	→ 7月に個人面談を実施し、1学期の通知表における所見の代替として、その内容を担任から保護者へ直接伝える機会を設けている。 昨日までの3日間、表札訪問を実施し、各家庭の場所を複数人で目視した。かつて実施していた家庭訪問の意義については理解している。ただ、訪問中における事故の可能性やインターネットの発達、豊野小学校の現状から家庭訪問をするケースがあるのかと考えると、表札訪問の在り方は、今後検討する余地があると考えている。
黒澤委員	○ P T A予算が昨年度、今年度と大幅に減額となっている。急激な変化であり、運営に支障がないか少々心配している。今後の動向を注視したい。
増田委員	→ 令和7年度は準会員費（豊野地区の住む地域住民からの集金）制度の撤廃、今年度はP T A会費を半額にした。行事を精選し、これまでと同額は不要であるが、今後どのような行事を維持、復活させるかについては考えている部分がある。今後も是非注視していただきたい。
栗田会長	→ 今年度、いろいろなバランスを考えてスタートしたところ。今後も運営する立場、見守る立場でそれぞれの一致点が見いだせればよい。安心はできないが、我々の学校のことなので、本協議会としても見守っていきたい。
栗田会長	○ 校長からの説明、学校要覧、学校だよりから校長の学校に対する思いが伝わってくる。次回以降の熟考、熟議に向けて進めていきたい。
司会	8 閉会のことば 次回の開催予定について
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和8年5月13日 署名 <u>教頭 澁谷 裕貴</u>	